



四中たより

第14号 R4.3.1(火) 発行責任者 岡中 学

進もう おおらかに
学ぼう うるわしく
励もう たくましく
TEL 31-0911

リモートによる生徒総会にチャレンジ

2月22日(火)に後期の生徒総会(生徒会引継ぎ式)を行いました。5月の前期生徒総会は、図書室からの放送のみで行いましたが、今回は、図書室と各教室をリモートで結び、大型モニターに、図書室にいる生徒会役員を、そして各クラスにいる質問・意見発表者を交互に映し出し、モニター越しながら、お互いにやり取りをしながら会を進めることができました。リモートで図書室と教室をつなぐと簡単に書きましたが、生徒会のリーダーと担当の先生は、そのために何度も打ち合わせを重ねて実現できたことです。このコロナ禍にあっても、「どうしたらよりよい生徒総会になるか」を考え、時間をかけながら準備した結果です。立派なチャレンジだったと思います。

会の中では、それぞれの委員会に対して「この活動は来年も続けてほしい」「この活動はもっとこうした方がよい」などの前向きな意見がたくさん出されました。また、各クラスから「四中の良いところと改善点」も発表され、あいさつや清掃(一文字ぶき)、四中スタンダードへの取り組み、行事やキャンペーンへの協力などの良いところ、制服や運動着、髪型などのルールに対する意見などが出されました。良さについては、「四中の伝統・誇り」として先輩からしっかり受け継ぎ、改善点については、生徒会執行部を中心に議論を重ねていくことになります。また、総会に先立ち、生徒会引継ぎ式では、3年生の生徒会役員から2年生の新生徒会役員に、「四中を頼む」という思いが込められたファイルが引き継がれました。新役員の皆さんは「四中の誇り・伝統」の重さを感じていることと思いますが、これからの主体的・自治的な取り組みを通し、四中をより良い学校にしていくよいスタートとなったようです。これからに期待です。



ペットボトルキャップ回収で社会貢献

2月21日(月)に、今年度生徒会で集めたペットボトルキャップ「97,725個」を、キャップを回収する事業を行っている山形銀行に渡してきました。例年は、生徒総会に山形銀行の担当者を招いて手渡していたのですが、リモートでの生徒総会ということもあり、直接、山形銀行に出向いて渡してきました。皆さんが集めてくれたキャップは、ポリオワクチンに変えられ世界の子供達へ届けられます。ポリオワクチンは1人分20円、キャップ860個で1人の子どもの命が救えます。また、ゴミとして焼却されれば、キャップ430個で、約3kgのCO₂が発生するといわれています。したがって、生徒一人ひとりの行動が世界の子どもと地球の未来を創ったこととなります。立派な社会貢献です。

